

らしんばん

身近な県政にするためには、県民とより多くの情報を共有すること。

タイトル写真左から、「住民と農水路の草刈り」「富士山世界遺産登録の朝」「アニメ Naruto電車」

発行者 静岡県議会議員
鈴木すみよし事務所

2013年6月議会号

発行日 2013. 8. 25

1. 6月議会(6/28~8/2) 知事選・参議院選を乗り越えて

<知事選・参議院選を振り返る>

6月の知事選ならびに7月の参議院選は、私が県議就任後、最大の試練でした。私たち1年生議員は選挙活動の内、実行部隊の中心的役割を担いました。

知事選では選挙公約作成に関わり、県政全般を詳細に学ぶ機会となりました。結果は108万票の県民の信任を得た川勝知事が二期目続投となり、私たちの訴えが届かなかったことへの猛省を感じています。

しかし、私から知事への6月議会代表質問を通じて、知事の二期目の議会への考えや行政運営について、基本姿勢をただしました。知事の答弁から、県民本意の県政運営に相互の理解が深まったことは、激戦であったからこそその成果かもしれません。

参議院選では、国政における衆参両院のねじれ解消が達成できました。

この結果を受け、これを新たな出発点として国と地方が一体となった国民本位の政治が前進することを、その一端を担う立場として、誠実に謙虚に実行していく所存です。

2. 6月定例会議案内容

二期目を迎えた知事の所信表明があり、「オールサイド」「現場主義や情報をオープンにする姿勢」「県民幸福度の最大化」の決意を表明しました。

また、県総合計画(10年計画)は、6年の残期間がありますが、これを任期4年間に前倒しで実現することを明示しました。最優先課題では、南海トラフで発生する巨大地震対策に対応した「地震津波対策アクションプログラ

ム2013」の実施、雇用創造や新産業の推進による経済対策、待機児童解消による少子化対策、飛び入学制度、「健康寿命日本一」に向けた医療体制の確保、防災と経済対策を兼ねた「内陸フロンティア」の推進による日本のモデル化、富士山世界遺産登録後の保全と活用についてなど、年間400億円の財源不足と10年で4,200億円の防災対策費確保の審議が行われました。

<本年度就任ポスト>

- 企画広報・文化観光委員会委員
県全体の企画と県政運営のとりまとめを、また知事戦略、地域外交を担当する企画広報部と、文化・芸術・大学教育・私学教育を、また富士山世界遺産を担当する文化観光部を所管。
- 議会運営委員会委員
静岡県議会運営を担当。議案内容や開催日程など、議会内で発生する諸課題も取り扱う。
- 自民党県連政務調査会副会長
自民党の政策に関わる県の中核機関。国や県市町および自民党組織、市民団体等に対し、意見収集や政策提言の調査・立案を行う。予算要望、条例制定等の提言を行う。

<6月議会一期生初代表質問>

本会議における議員の質問には、代表質問と一般質問があります。一般質問は全ての議員が年1回以上の機会があり、質問内容も柔軟で、選出地域の課題も取り上げることができます。

代表質問は会派代表のため、経験年数が多い先輩議員が行っていましたが、私は政調会副会長の立場で、二期目を迎えた知事の政治姿勢をただしました。持ち時間は全体で約2時間。



目次:

1. 6月議会 知事選・参議院選を乗り越えて P1
2. 6月定例会議案内容 P1
3. 所属する「企画広報文化委員会」での質問答弁 P2
4. 6月議会代表質問 および答弁 P2
5. 視察報告 P3
6. 富士山世界文化遺産登録達成 P4
7. 富士地域政策課題と進捗状況(各地の要望) P4
8. ホットなニュース P4
9. 県政相談窓口 P4



ハイライト:

- ・全県下を一つの選挙区とする県知事選・参議院選
- ・知事の二期目をただず代表質問の重さ
- ・南海トラフを震源域とする大地震対策の目途は
- ・富士山世界遺産登録後に始まる保全と活用の課題
- ・アベノミクスによる経済効果を地方に波及させる
- ・内陸フロンティアへの期待と課題
- ・議員報酬の削減



今年の8月後半2週間は、平成26年度県予算要望の元となる、全県下市町聞き取り調査に全て同席。初の県内全市町の現状を見てきます。



本年度は、議会運営委員会に所属。議会の進行や運営に関わり議会の裏舞台も体験。



6月議会直前、自民政調会役員で、川勝知事を訪問し、懸念される風しん対策の支援を要請しました。



県東部地区の家畜類の安心安全を守る岩、東部家畜保健衛生所新庁舎が完成し、担当委員会を代表し祝辞を披露。



月1回ですが、富士市ロゼンター西側交差点にて街頭演説を実施中。最新の県政報告を街頭マイクで呼びかけました。

3. 所属する「企画広報・文化観光委員会」での質問と答弁(●は当局答弁概要)

所管事務全般が質問対象で事前通告は無く当日開示。担当委員として自ら質問を設定。

- (1)地域防災拠点となる公共施設に再生エネルギー等を導入する事業概要
 - 公共施設への太陽光発電の導入においては、蓄電池を設置し夜間利用が可能。
- (2)内陸フロンティアを拓く取り組みの推進における課題
 - 土地利用の一括事前協議制度の創設と農地転用許可の規制緩和要請は難航。
- (3)私立学校地震対策緊急整備事業費助成の内訳
 - 建物の耐震補強と非構造部材耐震対策は、ともに対象経費の拡充や制限緩和。
- (4)富士山における利用者負担の用途検討
 - 予想以上の協力を得ている。用途については環境保全と登山者の安全確保。
- (5)富士山における今夏の安全確保対策
 - 遭難事故防止と自然環境保全のためのガイドラインを制定。
- (6)観光施策に関する情報発信の在り方
 - メディアによる重点広報を実施。人気アニメの活用など国内外の若者対策を。

4. 6月議会代表質問および答弁(一部) 他の質疑応答はH.P.から確認できます。

- 1. 二期目を迎えた知事の政治姿勢。「和をもって貴しとなす」が信条である知事の姿勢。

組織や人との関係に当てはめるのであれば、馴れ合うことではなく、互いの立場や意見の違いを尊重しつつ、意を通じ合う努力を重ねることが大切。そのためには会派を問わず信頼関係を確立するための努力を惜しまない。職員の関係も同様で、意志疎通さえできていれば職員各自の多様な考えに基づき、常に現場主義を念頭において、積極果敢に仕事を進めてもらいたい。万が一にも失敗が生じたときには、最終的に知事の私が責任をとる。これまで以上に、職員との風通しをよくしていきたい。
- 2. 第4次地震被害想定を踏まえた対策の内、津波対策施設整備の推進について

死者数を限りなく少なくすることが最大の使命。「減災」を基本理念に、10年間で集中して進めるハード・ソフトの両面にわたる地震・津波対策として151のアクションを明示、3つの重点施策を設けた。想定予算総額は4,200億円。防潮堤のかさ上げでは繰り返し発生しているレベル1津波による対応で8割の人的被害を減少。さらに防潮堤を粘り強い構造へ改良し、多重防衛でレベル2に備える。優先順位は被害軽減効果の高い地域から。
- 3. 地震・津波対策に係る予算措置、必要な財源確保について

職員給与削減は今年度限りの臨時・特例的措置。来年度以降については、まず、国に対して「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に係る特別措置法」の早期成立や国庫補助率のかさ上げなどの財政措置を求めていく。一方、県自らも徹底した行財政改革はもとより、県民の皆様のご協力による寄付金・個人県民税の徴収対策の強化のほか、来年3月で期限切れとなる「法人事業税の超過課税の更新」も選択肢の一つに考えている。
- 4. 経済雇用対策の内、中小企業支援策について

国内外の経済情勢の変化に対応できる多極的な産業構造への転換が必要。中小企業支援では、これまで培ってきた技術などを活かし、健康医療、新エネルギー、航空・宇宙産業などの参入できるように支援する。事業化のための研究開発や販路開拓などに重点をおいた「新成長産業戦略的育成事業」を実施する。また、産業支援機関や金融機関との連携を図り、経営革新計画の承認数全国第1位を目指す。(ものづくり条例の見直しを提案)
- 5. 富士山の保存管理に向けた取り組みについての内、富士山周辺の景観形成について

富士宮市が取り組んでいるメガソーラーによる景観への影響対策は、事前の届け出制度を導入し、独自に制定した基準により適合しない場合は、勧告ができる形態をとっている。県としては同様の取り組みを周辺市町にも導入していただき、景観への配慮をお願いしたい。また、規制強化について必要があれば、国に働きかけをしていきたいと考えている。



5. 視察報告

海外視察(シンガポール・マレーシア・フィリピン・韓国)



シンガポール交通局長と。MRT/LRTという新交通網を視察。MRT建設ではかつて私が勤務した企業の話に発展。



マレーシアの西海岸、マラッカ世界文化遺産を視察。今も貿易の中継地であり東西文化が入り交じる。遺産管理を調査。



第二次世界大戦の激戦地、フィリピンのレイテ島を慰問。静岡県関係戦没者慰霊を支援する在住の仲村秀子さん。



在韓国済州日本国松井総領事と。現地の世界遺産・観光産業・茶業の現状を視察。韓国国内でも特に親日家が多い。

国内視察(雲仙普賢岳・岡山県奈義町夢咲村・宮崎県口蹄疫メモリアルセンター・鹿児島県畜産試験場)



長崎県雲仙普賢岳の噴火災害は今でも記憶に新しい。火山防災とともに世界ジオパークとして再生する現状を視察。



夢咲村は岡山市から津山線で1時間半ほどの山間部。藤原夫妻は地元産の木材等を使った暖かみのある作品を創出。



宮崎県を襲った口蹄疫で酪農や畜産は壊滅的な状況に陥った。その貴重な体験を活かし、嚴重な防疫体制を整えた。



鹿児島県は黒豚をはじめとする畜産王国。その背景には県行政の弛まない、安心安全と経営支援、品種保護がある。

県内視察(東部コンベンションセンター・静岡空港貨物ヤード・吉田町津波避難施設・浜松春野町崖崩れ)



沼津市に完成間近の総合コンベンションセンター「プラザベルディ」。国際会議や大展示場とホテルを併設した施設。



静岡空港の活性化に貨物便の充実が欠かせない。新たな航空貨物の荷さばき所が完成し、事業拡大を目指す。



南海トラフを震源とする大地震対策は、沿岸部では津波から命を守る。吉田町は千人が避難できる施設を建設中。



浜松市春野地区の茶畑大崩壊現場。県議会治山議連で現地視察。県・国への復旧を要請し、約10億円の予算決定。

研修会(親守の詩・福島第一原発事故の検証・子宮頸がん検診支援・発達障害支援)



親守詩とは、親と子が相互に五七五調で気持ちを詩にして交わるもの。家族の絆を感じるいい機会だった。



福島第一原発事故の検証が一向に進まない。原発議連では現時点での情報を元に専門家を招いて勉強会を開いた。



「子宮頸がん制圧をめざす専門家会議」主催の研修会に参加。検診普及とワクチンで制圧は可能。行政支援に期待。



県東部地区の県・市議による発達障害支援の議連が立ち上がった。定期的な研修会を開催し理解を深めて支援へ。

6. 富士山世界文化遺産登録達成



富士山世界遺産登録記念レセプションが東京で開催された。静岡・山梨両県知事をはじめ、国・各界から参加。期待が大。



静岡市で開催された遺産登録感謝の会。世界遺産委員会で外交手腕を発揮した、近藤元文化長官の苦労話に感銘。



富士山は文化遺産であるが、構成遺産の内、白糸は自然遺産。滝壺周辺にあった売店や橋を撤去し保全対策を実施。



富士市の世界遺産登録祝賀イベントが新富士駅構内で開催。くす玉割や横断幕の除幕式が行われた。

7. 富士地域政策課題と進捗状況（各地の要望から）



富士市中里地区沼川土手の道路状況。過去における県と市の連携に課題があった。調整の結果路面補修へ。



富士市富士岡入町地先の県道。東名高速から下る県道は、豪雨時近隣の住宅地に雨水が流れ込む。調整中。



東日本大震災と同時期、3.15地震が発生し富士市内に多くの被害が発生。今宮地区滝川沿いの崖崩れは予算確保。



浮島地区根方街道沿いの側溝整備。軽微なものであるが、優先順位が高くない。当局への要望を引き続き行う。

8. ホットなニュース

◆ 県営富士水泳場(富士市大淵)の天井落下事故

7月22日、富士水泳場の屋内天井材が落下した。幸い人的被害は無かったが、前日は利用者がいた。また、今夏の水泳競技が数多く予定されていたが使用中止に。競技会会場の変更など多くの利用者に迷惑がかかった。事故原因は国交省機関に依頼。支える金具の不備が明らかに。天井材の撤去ならびに早期復旧が待たれる。



愛鷹山麓の区有林を管理する地域住民の皆様。全般的には山への関心が今一つ。境界など早めに確認する必要あり。



富士川鎮守の森を育てる会がつけ替えした吊り橋の完成式。里山を地域全体で守り、次世代子どもたちに引き継ぐ。

◆ 議員報酬を減額

県財政状況の厳しさ(財源不足や地震津波対策財源確保)を踏まえ、全議員が報酬を減額した。一律10%を減額し、来年3月まで実施する。これによる議員歳費削減総額は、40,026,700円となり、9月分報酬から実施される。

減額への呼びかけは私の所属する自民改革会議が各会派に呼びかけ、全議員一致で実現した。

◆ 6月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① 富士山を後世へ継承する国民運動を求める意見書
- ② 一般用医薬品販売制度に関する意見書
- ③ 風しんの感染拡大防止に関する意見書
- ④ 社会保障・税番号制度の導入に関する意見書
- ⑤ 看護職員の勤務環境の改善を求める意見書
- ⑥ 犯罪被害給付制度の拡充を求める意見書

9. 県政相談窓口

「県政相談窓口」とは、道路・河川等の整備の他、地域の課題についてご相談を承ります。

市と県、国の担当範囲が明確でない場合もありますが、こちらで調査いたしますので、区別なくお気軽に問い合わせ下さい。

ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関に確認し、その可否についてもご返事いたしますが、お時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。



発行者 静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

県政相談窓口および「らしんばん」発行者連絡先
富士市比奈1418番地の2

Tel 0545-34-0683

Fax 0545-38-0070

メールアドレス: hi.mena@tokai.or.jp

ホームページ: <http://sumiyoshi.info/>

ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>